



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話☎2111 内線240

無惨



1997
8
No.376

七月三十一日、金木警察署管内で、交通死亡事故があり、少年二人の尊い命が奪われました。
スピードを出し過ぎたためカーブを曲がりきれず、道路右側にはみ出たものと思われ、衝突の衝撃で、一人は車外に放り出され、一人は車に挟まれ、車は三つにちぎれて大破しました。
車は、買い替えたり、修理すれば元に戻ります。しかし、命は一つしかありません。
交通ルールやマナーを守り安全運転を心掛けましょう。

『芦野夢の浮橋』 開通



▲工藤副知事、田中町長等

— 渡り初め —



▲親子三代

芦野湖の桜松橋とオートキャンプ場を結ぶ湖上通路『芦野夢の浮橋』が完成したことに伴い、七月二十三日、芦野湖北側のオートキャンプ場で開通式が行われました。

開通式では、木村知事（代理Ⅱ工藤副知事）や田中町長等関係者による神事後、テープカットが行われ、

金木昭和町の津島金太郎・トミさん夫婦、子供の豊・友子さん夫婦、孫の和孝・貴子さん夫婦と金木南新町の小田桐多左衛門・ナヨさん夫婦、子供の清衛門・祐子さん夫婦、孫の春美・ひとみさん夫婦の、二組の親子三代と参列者が開通を祝い渡り初めをしました。

この橋は、水環境整備事業として平成五年度から着

工されたもの。幅二・四m、長さ二百六十五mで事業費は約三億三千万円をかけて完成し、繊維強化プラスチックでできた橋で、中央部にボートの渡り橋、東屋、釣り場、広場などがあり、夜間には照明灯により、浮橋が湖面にライトアップされる県内で初、東北で一番長い浮橋です。

橋の命名者である嘉瀬東町の松川ヒサコさんは「湖に橋が浮くなんて夢のようなこと。橋と共にこの町が、夢のある町になって欲しい。」と話していました。水辺空間を利用し、水とのふれあいに配慮された浮橋は、地域住民のふれあいの場、そして観光活性化にもつながるものです。

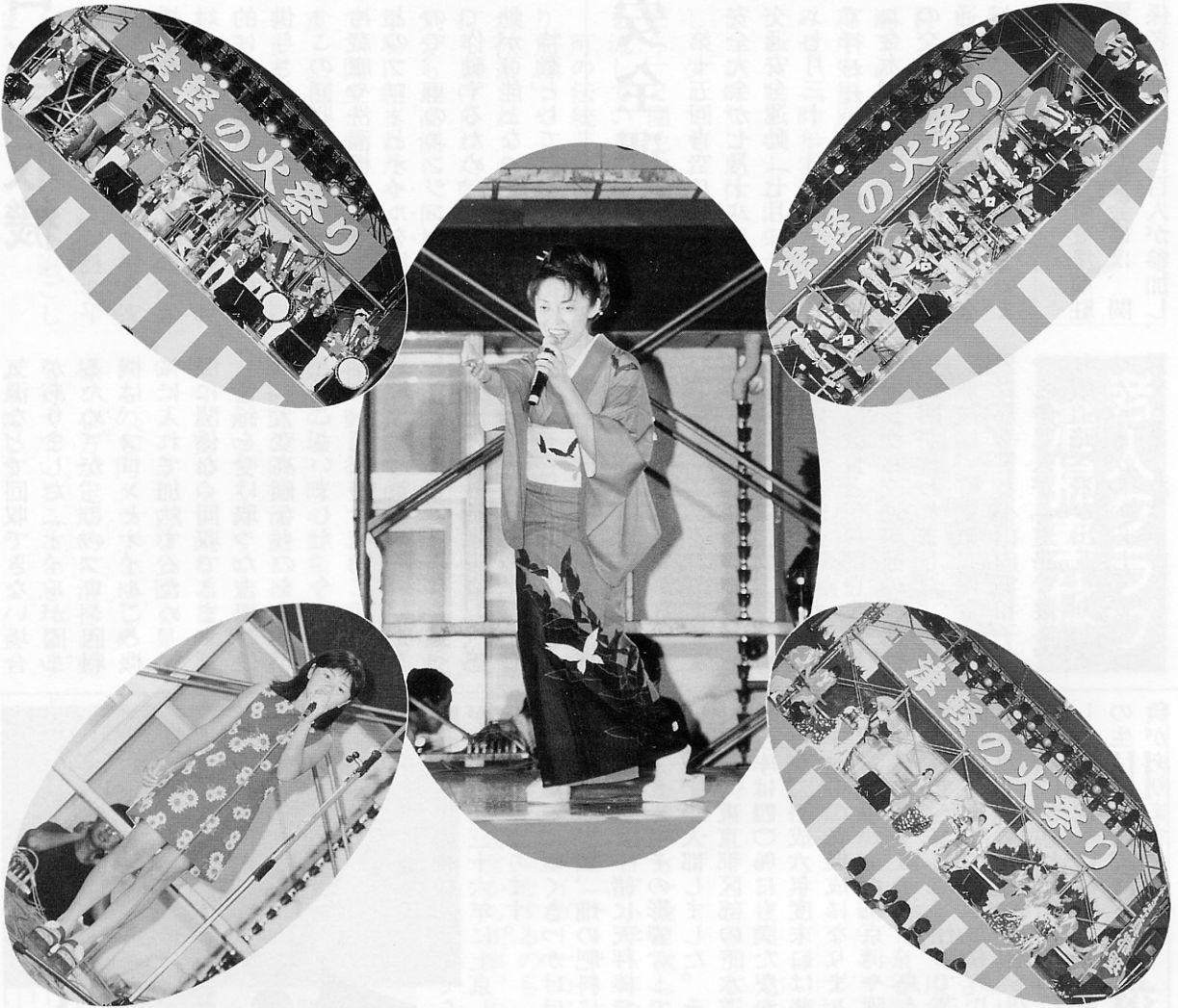
③ 広報かなぎ

津 軽の 第10回 火祭り

今年で十回目を迎えた、津軽の火祭り（実行委員長 田中町長）が八月三日、役場前特設会場で行われ、町内外から大勢の方が訪れ、夏の夜の火祭りを楽しみました。

今宵女性だけでつづるカラオケ・タイム「レディースカラオケ」や渡辺博美歌謡ショーで見事な美声に酔いしれ、五穀豊穡を祈願しているこの火祭り、「かなぎの四季」と称し、春の「金木さなぶり荒馬」、夏の「嘉瀬奴踊り」、秋の「かなぎ登山囃子」の金木町が誇る郷土芸能が披露され観客から盛んな拍手が送られています。

会場には、夕市や夜店コーナー、ビアガーデンが設けられ、格安の野菜などを買い求める人や、暑いときは「ビールが一番」とヤキトリや枝豆を食べながら、歌や踊りを楽しむ人でいっぱいでした。



▲金木町朝市運営委員会



▲花の28かなぎ応援団



▲かなぎプライダル

車載型フロン回収機

この度、青森県廃家電品適



正処理協力協議会（会長＝平井弘）から、地域環境保全支援事業として、大気汚染への対応、廃棄物の適正処理を目的に、車載型フロン回収機が供与されました。

この回収機は、使用済みの冷蔵庫や洗濯機、クーラーなどのフロンとオイルを抜くもので、車のエンジンを利用して作動するため、車ごとの移動が可能となっています。特徴としては、従来の物は

気温などで回収できない場合があります（オイルが固まるため）が、このフロン回収機は、フロンとオイルごと機械に入れて加熱するため、気温に関係なく回収できます。目録を受け取った吉田助役は「大変高価なものをありがとうございます。今後は、フロン回収機を有効に活用し地域環境対策に一層の精進をしていきます。」と謝辞を述べ、ご芳志に対し敬意を表し、感謝状と蝦夷人形を贈呈しました。

夏の交通安全運動



▶交通事故に気をつけます

第十五回青空リレー式交通安全大会が七月十八日、夏の交通安全運動（七月二十一日～七月三十一日）の一環として行われ、金木警察署管内（金木、中里、市浦、小泊）の交通安全対策協議会が、交通安全リレー旗を引き継ぎながら、事故防止を訴えています。

出発地点の金木町役場前駐車場で行われた大会には、関係者や町民約三百人が参加し、

金木町交通安全対策協議会長の田中町長が「家庭から、友だちから呼び掛け、交通事故ゼロを目指し頑張りましょう」とあいさつ。

続いて、葛西文昭金木地区安全協会長と伊與部豊金木警察署長から交通事故の概況等の説明が行われました。

最後に、町立第二保育所の上森那幸君と小山内実和子ちゃんの二人が「道路で遊んだり、道路へ飛び出したりしません。」とかわいらしく安全宣言をしました。

元気であらうが

けっぱれ



職業 東京都下水道局
 氏名 藤勝則
 年齢 56歳
 出身地 金木町若松町
 家族 妻、長女、長男

金木町民の皆様「元気であらうが」昭和三十六年に上京し、三十六年になります。今この職業に就ききっかけは、子どもの頃、田、畑の肥料に人糞を母親と一緒に天秤棒で担ぎました。その影響で昭和四十年入都しました。その当時、東京都区部の下水道普及率は四〇%にも満たなかったが、平成六年度末には普及率一〇〇%概成になりました。あの汚かった東京湾や隅田川も今は、魚が泳ぎ、鳥も集まってきました。仕事で苦労したことは、技術面もありますが、地域住民の理解を得ることに苦慮したことです。しかし、我々には地下で都民の生活を支えているという自負があります。

趣味は、第二の人生を「いきいき」と過ごすためにも必要です。中学の頃、あの芦野グラウンドや芦野公園、高長根等を我が庭のごとく走り回ったマラソン、今もその足は健在です。（上京してから五万キロ走破。フルマラソン六回、青梅三十キロマラソン十四回、坂戸毎日二十キロマラソン十六回出場、大会出場回数二百九十五回）。

その他、琴古流尺八（師範）、津軽三味線（九年）、津軽民謡（五年）、畑です。

これらに関係する友だちが私の財産です。老若男女を問わず、今しか出来ないことに気づき、それを実行することだと思えます。

『志あるところに、道あり』

サントピア夏祭り

HAND IN HAND

(手に手をとって)

踊りなどで楽しみました。

「輪になって踊ろう」をスローガンに、大東ヶ丘サントピアホーム(園長 花田昭二)で七月二十六日、恒例の夏祭りが開催され、園生や町民等約二百五十名が花火大会や盆

この日、会場設営をした職員、ボランティアの中に、嘉瀬下派立の秋村沙織さん(青森中央短期大学二年)も姿をみせ、「昨年実習生として、サントピアホームに来たのがきっかけで、夏休みでもあるし、少しでもお手伝いができたら」と園生の世話などに汗を流していました。

町の伝統芸能「金木さなぶり荒馬」や「嘉瀬の奴踊り」が披露され、その後、花火が打ち上げられた頃には、祭り気分も最高潮に。同施設前駐車場に組まれたやぐらを囲んで、園生や職員、町民等が二重・三重の輪になって盆踊りをしました。

また、みちのく銀行の皆さんも浴衣姿で祭りに一役買い、園生の父母ボランティアによる「おでん」や「焼き鳥」等の出店もみられ、踊ったり、食べたりと楽しい夜を過ごしました。

老人クラブ 清掃奉仕



▲いつもごくろうさまです

金木町老人クラブ連合会(会長 木村不二男)がこの程、芦野公園全域の清掃活動を行いました。

同クラブでは、ボランティア活動の一環として、四月から十月までの毎週月曜日に清掃活動を行っており、町民の憩いの場、町の財産である芦野公園の清掃活動には、特に力を注いでくれています。

今だ変わらず減ることのないゴミ。きれいな公園を見られるのも同クラブをはじめ、様々な方が定期的に清掃活動を行っていることを忘れないようにしましょう。

川倉小学校PTA 親子の絆を深める

子どもたちの自主性とふれあい、そしてPTAの皆さんとの交流を深めようと、川倉小学校PTA(会長 泉谷雅彦)が主催する「親子キャンプ」を町営オートキャンプ場で一泊二日(七月二十日、七月二十一日)の日程で、児童、父兄等約百五十名が参加して行われました。

蝉のなく声も一段と激しく、蒸し暑いこの日、小学一年から六年生までを「チーター」「スワロー」「タイガー」の三班に編成し、何をするのも一緒とテント設営から炊事、キ



▲リズムカルに踊る

キャンプファイヤーの準備と手際よくこなしていました。時もたち、激励に駆け付けた田中町長が子どもたちに「たくさん食べて元気に育って欲しい。また、交通事故には十分気をつけて下さい」と話され、夕食であるカレーライスを皆さんと一緒に食べ、父兄の方々の労をねぎらっていました。

日も落ちた七時三十分、キャンプファイヤーがスタート。拍手に迎えられ、火の神様(営火長)に扮する泉谷会長を先頭に火の女神と付人がたいまつを手に登場。

「愛の火」「友情の火」「勇気の火」として、児童全員に分火。その後、中央の燃え盛るキャンプファイヤーを囲んで、親子一緒にマイムマイム等の音楽にあわせ、掛け声と共に踊ったり、歌ったりしてフォークダンスを楽しみました。また、お父さん方が前日から準備した出店コーナーやゲームコーナーでは、時間が経つのも忘れるほどの盛況でした。

▶園生による登山ばやし



岩木山登山ばやし

マツキーレディース 最優秀賞受賞

―農村女性の生活・生産 活動に関する事例発表―



青森県と県生活改善グループ連絡協議会が主催した「あおもり農山漁村女性会議」で、蒔田地区のマツキーレディース(会長 川口恵子)が、農家の女性が果たしている役割や地域内の交流などを事例発表し、見事に最優秀賞に選ばれました。

ました。

『地域の中で輝いて』と題し、就業条件の整備として、集落内における月二回の農休日の実施を実現させ、暮らしのルールづくりに対する集落内の気運を盛り上げたほか、農休日を利用して、伝統行事である子どもや高齢者との仮装行列などを行い、地域に活気を与えていることや、野菜栽培講習会やパソコン簿記帳研修会を実施し、女性たちの技術向上による農業経営への参画を果たしていることを述べました。

また、来年三月に東京で開かれる全国大会に向けてますますはりきっています。

『地域の中で輝いて』

一 提言したいこと

農業を魅力ある職業にするためには、他産業並の就業条件を整備する必要があり、自分たちが満足する経営をしていけば必ず後継者が育つと信じています。休日制や給料制を整えるためには、まず農業を支えている私たち女性が自覚し、正当に評価されるよう夫や周辺に理解させていくことがもつとも必要なことです。

二 特徴的な活動内容

(一) グループ員の営農形態も水稲単作からトマトやねぎ等を取り入れた複合経営に転換し、農業経営の担い手も若夫婦中心に変わり、野菜栽培講習会やハウス巡回の実施などに意欲的に取り組んでいます。(二) 「自分たちの働いた結果を数字で確認したい」という願いから、記帳に挑戦することになり、みんなで普及センターの指導を受けました。(三) 平成六年から七年に新しい家族経営推進運動事業が私

いるメンバーもいます。(三) 「忙しいからこそ休みが必要」と声を大にし、平成七年からは、六月から九月まで月一回の農休日を実施した。

たちの集落に入ったのをきっかけに、女性の声を反映させ、就業条件の整備の一つとして平成七年に集落の合意で農休日を設置した。グループ全員が先導役として家族で参加し、暮らしのルールづくりに対する集落内の気運を盛り上げ、また、これまで休んでいた伝統行事の「虫送り」を復活させました。

三 主な活動成果

(一) 「トマト、元氣」のあいさつで始まるほど意欲的にトマト栽培に取り組んできたことは、集落に野菜栽培が定着する上でも大きな力となり、仲間も増えました。また、アップダウン式収穫台車を利用した収穫作業の改善にも取り組み、周辺への情報発信も行ってきました。

第一回目の農休日は、伝統行事の復活も兼ね子どもから高齢者までを巻き込み、お揃いの半てんを作り、太刀振り、子ども御興、仮装行列で集落内を練り歩き、特に高齢者には喜ばれ、熱く燃えた一日でした。

農休日を実施したことで、地区内に活気がでた。参加戸数も初年目は十四戸、二年目は二十二戸に増え、三年目の今年是我们たちの希望で月二回実施することになり、農休日の旗も作りその日は緑の旗がなびき、集落の半分以上が参加するようになりました。

四 これから実施したいと 考えていること

後継者のためにも残したいと農休日を実施した。忙しいとき休むのは気持ちがいいし、やればできると言うことがわかった。次は給料制の普及に取り組みたいと考えています。

国展「前田賞」受賞作品

『北辺春秋』寄贈

七月二十五日、弘前市在住で「金木あしの会」会長である福井金彦さんと松江喜代寿さんが来庁され、松江さんの銅版画「北辺春秋」が町に寄贈されました。



今年、在弘「金木あしの会」

が設立四十周年記念を迎え、ふるさと金木町に形で残るものを贈ろうと、この度の寄贈となったものです。

この作品は、世界に四展しかなく、一九九三年(平成五年)に八カ月を費やして完成したもので、同年の国展で「前田賞」を受賞。これにより会友に推挙となった作品です。

題名の「北辺春秋」とは、生まれ育った津軽の風土と四季折々の事象を原風景として長年発表しているシリーズもので、「カッチョ」を風雪に耐える津軽としてイメージし表現したものです。

松江さんは現在、青森県美術展(県展)版画副部長、青森県コンテンツポラリー美術家協会員で県立弘前工業高等学校教諭として活躍しており、寄贈に際し「末長く、金木町民に鑑賞して頂ければ、作家としてこの上ない幸せです。」と話されていました。



左から田中町長、成田教育長、福井氏、松江氏

老齢基礎年金の繰り上げ請求は慎重に

でも変わらないので、生涯減額された年金を受けることになりません。

国民年金の老齢基礎年金は

また、繰り上げ支給の請求

六十五歳からの支給が原則ですが、希望すれば六十歳以上

書は、一旦受理されると、あとから取消や変更はできません。

六十五歳未満の人でも、繰り上げて受けることができます。

② 繰り上げて年金を受けていると、特別支給の老齢厚生年金や退職共済年金は、六十

ただし、繰り上げ年金を受けると、六十五歳から受ける場合比べて、次のような不利な点があります。

③ 繰り上げて年金を受けた後、就職して厚生年金などに加入すると、その間は支給が停止されます。

① 繰り上げ支給の申請をしたときの年齢によって、受け

④ 老齢基礎年金を受けてし

れ、その率は六十五歳になつ

て下さい。

まうと、その後事故や病気で障害を持った場合でも、障害基礎年金を受けることができ

平成9年度 児童・生徒健全育成標語優秀作品

金木高等学校	喫煙禁止！ すべて未来の君のため 知らないふり それもまた人を傷つける 見たくない 自分の親の 泣いた顔	米谷 周平 梶谷 なぎさ 大川 茜
金木中学校	暴力は 自分の心も 傷つける おはようで 始まる町に したいよね みんなの手 みどりを守る手 心の手	藤田 琴幸 白川 志保 神成 哲也
金木南中学校	くい止めよう 自分の心で 自分の手 いじめられ おちこむ姿に 声かけて 言葉とは 悪口のための ものじゃない	桑田 志穂 原田めぐみ 棟方沙弥香
金木小学校	金木町 ほくらがすむ町 大切に ポイ捨ては 町も心も よごれちゃう あいさつは 心と心の ホッカイロ	白川美貴洋 原 詩織 山田 亮太
川倉小学校	いじめをする心 とめない心 ゆるさない ポイすては 自然をよごす 第一歩 夜の道 一人歩きは きけんがいっぱい	其田和可菜 秋田 梨夏 竹内里香子
嘉瀬小学校	おてつだい ころもへやも きれいだよ へんしつ者 わなにかかる子 待っている あいさつで 心の花を 咲かせよう	澤田 美希 岩村 聡 原田 景子
喜良市小学校	おはようで 心のおくまで 目をさます おはようは 心と心を つなぐ声 あいさつで 町中みんな いい気持ち	今 健聖 津島 紳也 加藤あゆみ

わたしたちの財産と生命を守る — 金木警察署落成 —



昨年七月から工事が進められていた金木警察署庁舎が完成し、七月七日より地域住民の生命と財産を守る拠点としての任務がスタートしました。昭和三十八年に金木字菅原地区（栄町）に建設された旧庁舎は、狭あい化しており、昭和五十八年の日本海中部地震等で老朽化が著しくなったため、国道三三九号線沿いの旧東北農政局小田川農業水利事業所跡地（若松町）に新築

されました。新庁舎は、広い駐車場を兼ね備えた鉄筋コンクリート二階建てで、敷地面積が約五千二百二十㎡、述べ床面積は千五百八十㎡（車庫除く）です。（ちなみに役場庁舎の述べ床面積は約二千八百五十㎡。）一階には署長室、事務室（総務課、交通課、地域課）、相談室などが配置され、二階は警備課、刑事生活安全課、会議室、柔・剣道場などとなっています。

また、庁舎内に中庭や身体障害者用トイレがあり、正面玄関は自動ドアで来客に十分配慮した造りとなっています。金木警察署には現在、伊與部豊署長以下、三十九名が勤務しています。相馬忠男次長は「治安維持のため、地域住民の協力を得ながら、新しい庁舎に恥じないよう頑張っていきたい。」と抱負を述べてくれました。

金木警察署の沿革

明治八年十月 五所川原村所在の第五大区警察出張所の下に金木村巡査屯所を設置した。
明治十年二月 警察署制度の導入により、巡査屯所を改め、金木、中里、小泊分署とし、木造警察署の管轄とした。
明治十三年六月 五所川原警察署の所轄分署に改めた。
明治十六年八月 中里分署を廃止した。
明治十七年七月 小泊分署を交番所とした。
大正十年十二月 金木町の中央部（現みちのく銀行）に金木分署を新築した。
大正十五年七月 分署を廃止し、金木警察署に昇格した。
昭和二十三年三月 警察法施行により、金木町に金木町警察署を設置し、他の町村は五所川原町所在の北津軽地区警察署の管轄とした。

昭和二十六年十月 警察法の一部改正及び国警地区警察署組織の改正により、金木地区警察署と改称した。
昭和二十九年七月 新警察法の施行により、金木警察署と改称した。
昭和三十年七月 町村合併により、管轄区域が二町二村となり現在に至る。
昭和三十八年五月 金木町大字金木字菅原二二番地に移転新築した。
平成九年六月 金木町大字金木字芦野二二番地八九に移転新築した。

伝言板

◎届いています
七月二十二日 金木警察署前の路上（腕時計）
七月二十九日 喜良市北本町伊藤商店前（財布）
心当たりの方は、金木警察署落し物係まで。
◎係から
このコーナーを利用したい方は役場企画室まで。

金木病院カルテ (140)

今回は、嘉瀬にお住まいの低血圧症で困っている方のご要望にお答えして、低血圧症についてお話しします。

「老年者低血圧症」

内科 都谷森 弘

一、老化に伴う器質的・機能的変化

(一)起立性低血圧

起立時の収縮期血圧(上の血圧)が座位、臥位より、二十以上低下する頻度は、六十五歳以上で十六〜三十%と報告されています。

迷走神経活動が低下、交感神経系が興奮することにより血圧は維持されず。

老年者では、主として圧受容体(血圧の調節機構)の感受性や血管反応性が低下し、上記の反応が起こらないため起立時に低血圧をきたすのです。

(二)食後性低血圧

老年者では、食後に低血圧症が起こることが多くあります。食物摂取は内臓血流を増加し、その結果全身血管抵抗は減少します。老年者ではこの反応は減弱するのです。

(三)薬剤性低血圧

老年者の特徴として、多疾患をあわせもつことがありまます。このため、老年者では多剤を服用することが多くなり、循環器系や精神神経系の薬剤では、副作用として低血圧をきたすことがあるので注意が必要です。

二、老年者低血圧の症状

低血圧の症状は多彩で、めまい・立ちくらみ・頭重感・頭痛・動悸などがあります。

三、老年者低血圧の治療
(一)生活指導
過労を避け、十分な睡眠をとり、規則正しい生活を行いましょう。

日常生活上、避けるものとしては、長時間の臥床・長時間の立位・過食・排便時の緊張・重い物を持ち上げる・発熱・激しい運動・激しい咳・酷暑・過呼吸・熱いお風呂や

シャワーやサウナ・急激な体位変換などがあります。低血圧患者は体位変換の際に症状が出現しやすいため、急激な体位変換は避けゆっくりと動作を行いましょう。また、症状は起床時にも出現しやすいので起床直後の日常活動は慎重に行う必要があります。早朝の増悪を避けるために就寝時に五〜二十度、頭部を挙上して休むようにしましょう。

人混みの中や猛暑の際に症状が出現・増悪する人も多く、満員電車やデパート歩きなどは避け、夏期の炎天下の外出も控えるべきでしょう。老年者では転倒による大腿骨頭部骨折・頭部外傷などが大きな問題であり、起立に際し注意する必要があります。

(二)食事指導

水分摂取量を多くし、合併症などの問題がなければ食塩も多目(二十〜三十g/日)に摂取しましょう。その他、タンパク質、ミネラル、ビタミンに富んだ食事が勧められます。チラミンを含有するチエダーチーズは交感神経終末に働き、ノルアドレナリンを遊

離します。カフェインは血管収縮をもたらすが、耐性を生じるためコーヒーは一日一〜二杯にとどめるのがよく、アルコールを飲まないようにしましょう。

(三)その他

弾性ストッキング・レオタードなどをはいたり、腹部に腹帯をつけたりすることによって、下半身への血液貯留を防ぐことができます。乾布摩擦は血管を収縮し、運動(水泳、ジョギング、速

歩、体操)は全身循環の改善にもよいが無理のない程度に行いましょう。

自律神経系の鍛錬として、日にあたる、皮膚の鍛錬、冷水摩擦、入浴は温かめの湯にゆっくり、入浴時の冷水がけ(末梢から)、朝風呂・朝シャ(末梢から)、朝風呂・朝シャ(朝のシャンプー)、水泳、海水浴などがあります。

これら一般療法を行っても症状が強く日常生活にお支障をきたすときは一度来院してみて下さい。

つがる弁 クイズ

このクイズは若い人の知らない、聞いたことの無い津軽弁を楽しく、再発見してもらおうと問題にしたものです。

Q.「おめだばすぐみやしあげるつきゃ」を標準語の会話に直して下さい。

正解者の中から抽選で3名様に素敵な記念品を差し上げます。どんどん応募して下さい。

応募方法

ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ

- ①クイズの答
 - ②今月号のよかった記事
 - ③つまらなかった記事
 - ④ご意見・ご感想を記入し
- 〒037-02 金木町大字金木字朝日山323 金木町役場企画室までご応募下さい。

応募の締切は9月3日当日消印有効。当選者の発表は9月号に掲載します。

7月号は「風邪気味で、寒気がしてきた」でした。当選者は次の2名です。

嘉瀬 鳴海 達也 さん
金木 野村 しのぶ さん

たくさんのご応募、貴重なご意見有難うございます。今回当選しなかった方もこれにめげずどしどしご応募下さい。

戸籍

の窓

七月届出分

おめでとう

おしあわせに

はじめまして

	
<p>樹 揮 也</p> <p>立派な関取になって欲しい (父 石岡直樹より)</p>	<p>美 咲</p> <p>明るく、優しい子に育って欲しい (母 伊東美奈子より)</p>
	
<p>竜 司</p> <p>明るく元気に育って欲しい (祖母 阿部ヒロミより)</p>	<p>雛 乃</p> <p>元気で明るく育って欲しい (母 山田星子より)</p>

成田 和樹 (芳謹) 金木
 山田 雛乃 (秀樹) 金木
 阿部 竜司 (一博) 金木
 松川 幸平 (幸喜) 嘉瀬
 伊東 美咲 (誠司) 金木
 石岡 樹揮也 (直樹) 金木

菊池 玲 (良一) 弘前市
 石戸谷 鈴香 (廣) 金木
 原田 桂吾 (兼治) 中柏木
 最上 友紀 (美代子) 青森市
 今 一夫 (多作) 中里町
 遠山 妙子 (章) 金木
 新岡 嘉輝 (喜義) 中里町
 木村 加津子 (武則) 金木

高橋 享子 (72才) 喜良市
 平井 清 (72才) 嘉瀬
 おくやみ

この欄は、金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口届出の際申し出てください。

成田 清明 (76才) 金木
 伊藤 武男 (70才) 金木
 伊藤 スミ (84才) 嘉瀬
 伊丸岡 兼作 (77才) 喜良市
 山中 ヒメ (67才) 嘉瀬
 松本 秀男 (69才) 金木
 櫻庭 兵太郎 (85才) 金木

あなたの善意ありがとうございました

- ▼社会福祉協議会へ (敬称略)
- 古川哲雄(喜良市) 日頃蓄えた小銭 3,685円
 - 長谷川元彦(故三浦晴雄親戚)
電子タイプライター 1台、電磁調理器 1台
時計 1個、点字用台 1台
 - 井畑明男(青森銀行取締役頭取)
青森銀行金木支店100周年記念として 100,000円
 - 角田正男(金木本町) 見舞金の一部 100,000円
- ◎第10回津軽の火祭りの夜店コーナー & ビアガーデンの収益金の一部
- 金木町朝市運営委員会(会長=秋元トシ) 2,000円
 - かなぎブライダル(代表=渋谷多加) 10,000円
 - 花の28かなぎ応援団(団長=長尾重孝) 10,000円

人口と世帯	7月末現在	前年同月比
	男 5,879人	△ 75人
	女 6,462人	△ 85人
	計 12,341人	△ 160人
	世帯数 3,927	16

主唱通産省電気使用
安全月間 8月1日▶31日

コードの接続には
コード接続器を
使いましょう



(財)東北電気保安協会